

CBC NEWS

生きた水

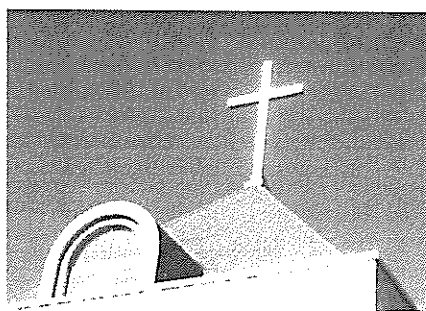
中央聖書神学校で教鞭を執るといふ幸いな務めを主から賜ってもうすぐ五年目となる。教えることより教えられることが多い。

何よりもまず熱心な伝道姿勢。ある日食後に雑談していると、学生の携帯が鳴った。話し出すと声が一変。柔らかな物腰で相手の話に応じている。

「求道者の人からです。」

学生伝道会に時々来ている高校生だという。恥ずかしながら自分が神学生の時にはもちろん教職になってからは求道者と関わっているが―特定の誰かを導いた経験はなかった。公園伝道。忙しい時間を遣り繰りして、上野公園のホームレスに伝道に行く。学生伝道会。当たり

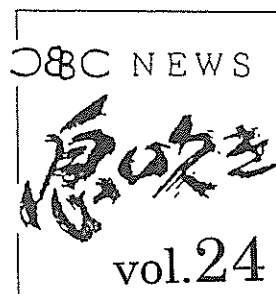
前のように定期的に来ている人もいる。何より驚いたのは、祈禱会で、派遣教会や学生伝道会の求道者のために名前を挙げて祈っていること。当たり前のようだが、少なくとも二十年前にはなかった。



次は学習意欲。現在駒込には五十歳以上の学生が五人学んでいる。中には定年前に仕事を辞め、献身してきた者もある。年齢のハンディキャップをものともせず、必至で学んでいる。「卒業後実際に

働ける時間が短いので、ここにいる間に少しでも多くのことを学びたい。」とのこと。この姿勢が若い学生たちにも良い影響を及ぼしている。五台ある図書館のパソコンは時に取り合いになる。使っていないパソコンがあったら、是非献品していただきたい。

最後に建徳的な姿勢。再びCBCに入りますように。なって一番感じることには、「裁き合う」雰囲気がないことである。同じ屋根の下で二十四時間一緒にいると当然欠点も見えてくるし、氣にくわ



ないこともある。時にぶつかることもあるようだ。だからといって非難し合ったり、揚げ足を取ったりする雰囲気はない。互いの徳を建て、成長し合おうとしているのだ。学生たちは主の召しに応じて、全てを捨てて駒込山を上ってくる。荒削りなところも、未熟なところもあるがその心根は純粋である。駒込での学生たちとのふれあいを通して、卒業後二十年が経ち、なんとなく自己満足に陥っていた愚か者に、主がもう一度原点を見せて下さっているような気がする。水は流れなければ淀み、腐ってしまう。いつも何かに向かって流れて行くならば、清く、新鮮で、命を生む。立ち止まらずに流れ続ける主の弟子でありたいものだ。

CBC NETWORK

- ・一月一九日、二〇〇三年度早期入学試験が行われ、二名の方々が受験された。
- ・一月二三日、オープンキャンパスが持たれ、一二名の方々が参加、一日体験入学された。
- ・一月二九日、教師らと共に餅つき大会をもった。
- ・二月三日、アジア神学大学院日本校学位授与式が、チャペルで持たれた。
- ・二月四・八日にはAPTS学長、ジョン・カーター師が「教育心理学」を研究科・ブロック授業で、二月一・一五日には、米国アッセンブリー・ハワイ教区長、ジョージ・ナガト師が「牧会カウンセリング」を、二月一八・二二日には、海外宣教師長、佐々木正明師が「宣教
- ・学緒論」をブロック授業で教えて下さった。また、第一ブロック、第三ブロックでは、堀川寛師、能城一郎師が教えて下さった。
- ・二月八日、分校のスクーリングが行われた。
- ・二月十一日、故弓山喜代馬師の召天一周年記念会がチャペルにて行われた。
- ・二月一七日、社会問題委員会主催により、久保田寛師を招いて、「聖書と人権」と題するセミナーが開催された。
- ・二月一八日、二〇〇三年度の入学試験と面接が行われた。
- ・二月一九日、海外宣教祈禱会が持たれ、佐々木正明師がメッセージを、カンボジアにて宣教師として働いておられる井桁正巳師が証しをして下さった。
- ・二月二八日、卒業夕食会が持たれ、卒業を祝った。
- ・三月四日、第五三回卒業式があり、六名の卒業生を送り出した。

後援会のご案内

中央聖書神学校が教団の伝道者養成機関として発足以来、すでに五三年を数えておりますが、その間多くの方々のご協力と献げ物と奉仕によって幾多の伝道者、働き人がこの学舎から輩出されたことは感謝であります。

さらに学校の設備に充実とゆとりのある運営がなされるためには、多くの方々のご賛同を必要としております。どうぞこの点をご理解いただき、是非本会にご入会くださるよう心よりお願い申し上げます。

中央聖書神学校後援会
会長 山田 亘

後援会入会要領

個人会員 一口年五千元
法人会員 一口年一万円
☆連絡は中央聖書神学校内
後援会宛にお願いいたします。

編集 後記

時は流れる。哲学的にはカテゴリー・ミスマッチということになるのかもしれないが、私にはこの言葉がびったりする。三年間という時の流れ。ある時は緩やかに、ある時は激しく、その中で私は育まれて来た。召された者として、整えられるようにと、神が用意して下さいました時。

ヨハネの福音書三章一六節の言葉が、今までに無い新鮮な響きを持って、私の心を揺り動かす。人間に与えられた真の希望。そして、このことを人々に宣べ伝える為、今日、私は駒込山を降りていく。

(N・T)

編集スタッフ

竹中 範明 宮澤 幹彦
山岸よしあ 古川 雅香
平松 徹 アシス・ロベス

編集責任者 白石 慎男

事務局 中央聖書神学校

豊島区駒込三・一五・二〇

TEL 〇三・三九一・八四九二五

FAX 〇三・三九一・八四〇九九

全生園訪問

※ハンセン病国立療養所



*全生園訪問スタッフ↑
充実の笑顔がまぶしい～～！



*全生園でノリノリ新入生！

もちつき大会



*いいねばりしてますね～！



*もち娘3人組、もち美味しい～！

CBC 写真館
パート4

前回に引き続き、CBC での行事を写真
で紹介しま～す！！



*めったにみれない4年生
の集合。

*先生を囲み、キレイどころと
奇妙ところが勢ぞろい！↓



クリスマス祝会

献身者準備会



*オープンキャンパス

授業、真剣な面持ちの
学生達！

中央聖書神学校学生募集

主の御声を聞いている者よ、来たれ！
入学資格：受洗後2年以上を経た忠実な教員
高校卒業以上
住 所：〒170-0003 東京都豊島区駒込3-15-20
電話番号：03-3918-4925
<http://www.cbc-j.ac.jp>
入学案内は学校事務所にお申し出下さい。



Congratulations



江 励
大 堀 キリスト 教会
任 地：堀キリスト教会

主の御名を賛美します。この四年間に、学校、派遣先の教会、伝道ミニストリーらで多くの方に出会い、教えられたことを感謝します。
「神様とはいったい何？」
「自分に与えられている使命とは？」
「本当に考えさせられた毎日でした。そして、ペンテコステ人らしく、聖霊様と深く交わるにより霊的視野が広がりました。神の言葉と力が、どんなに真実であ



野 倫 夫
荻 熊谷福音キリスト教会
A P T S 留 学

るかを体験できました。これからの伝道者生涯、霊の帆をしっかりと張って、聖霊の風に乘って進んでいきたいです。
「神の国はことばにはなく、力にあるのです。」(1コリント四章二〇節)
アカデミー賞授与式などで、授賞者は延々とお世話になった人の名前を挙げ感謝を述べますが、今はその気持ちが分かります。

名前までは記しませんが：家族、母教会の皆さん、学校の先生方、卒業された先輩方と同窓生並びに在学生の皆さんに、心からの「ありがとう」を述べさせていただきます。
振り返れば目眩がしそうな位、色々なことがあった四年間でした。長くもなく、さりとて短くもなく、適切かつ絶妙な四年間でした。
天が下すすべての事には時があり、そのすべては時にかなって美しいのですが、私たち人間には神の業を見極めることができません。しかしながら神は、必ずや万事を益と変えて下さることでしよう。



短いようで長い四年間でしたが、主にある横とのつながりの大切さ、授業を通して神様を知ることが出来る恵み、伝道に励んでおられる先生方の姿を通して、多くのことを学ばせて頂きました。これらを実践の場において大いに活用出来たらと願っております。
四年間を振り返り、多くの方々の祈りによって支えられ、今日があることを感謝申し上げます。



三 木 和 恵
堀 キリスト 教会
任 地：明石キリスト教会

Congratulations

卒



明 範 中 竹
小岩 栄光キリスト教会
任地: あすみが丘伝道所

二〇〇〇年四月、この駒込山にきて三年。恵まれた環境の中で、召されたものとしての準備の時を、恵みのうちに無事終えることができたことを、心から主に感謝致しております。神学校での学びと訓練を通して、神の現実と真実、そして神に生かされて生きることの喜びを改めて深く知らされました。マタイ二八章十八〜二〇節の御言葉を今一度しっかりと心に刻み込み、私

おめでとう 2003.



嗣 浩 塚 大
神 愛 基 督 教 会
任地: 蒲江キリスト教会

達に真の希望を与えるキリストの福音の素晴らしさを宣べ伝える為、残された生涯を捧げていきたいと思っております。

CBCにおける、かけがえない貴重な三年間を共に歩んで下さった主を賛美します。人は試練は長く、恵みは短く感じると言います。今、振り返ると一つ一つの出来事が走馬灯のように蘇えって来ますが、私にはその試練もなつかしくも短く、恵みに包まれ



子 合 本 重
江 戸 川 台 キ リ ス ト 教 会
任地: 麻生キリスト教会

例えば、緊張の中にも幼いときに与えられた献身の思い

ていました。
学校の先生方、母教会また派遣で御世話になった教会の先生方と兄弟姉妹、そして尊い献げ物とお祈りで支えて下さった全国諸教会の皆様から感謝しています。召命の命じ手なる主に頼りつつ前ものを目指して進んで行きます。引き続きお祈りに覚えて下されば幸いです。

が実現された喜びで溢れていた入学式からもう三年が過ぎました。振り返るとき、学びから、日々のディポジション、多くの友人や先生によって自分自身の本当の姿が鏡のように映し出されました。このような私が召されているだろうかと思いましたが、神様は召しを確かなものにして下さいました。これからも神様と共に働き続けていきます。母教会を始め、多くの方々の愛の祈りと捧げものを、心から感謝いたします。(イザヤ書四一章八〜九節)



冬期派遣の証し ～北から南から～

阿南神召キリスト教会
に派遣されて

三年 谷口 芳彦

二〇〇二年一月二日八日
早朝、阿南神召キリスト教会に到着し奉仕がスタートしました。教会に着いてまず感動したことは、開拓教会とはいえ、整えられた信徒、すばらしい会堂や四〇〇坪という土地の広さでした。その日の午後、早速聾者の役員信徒さんから、予め用意した原稿で手話の特訓を受けた後、礼拝メッセージをしました。ところが私の手話は全く通じず、みなさんを「励ます」(コロサイ四章八節)どころではなく、意気揚揚と遭わされていったわたしのもくろみは、もろくも打ち砕かれ惨憺たるスタートとなりました。

それから約一カ月、心をこめて手話のメッセージ

をし、ひたすらトラクトを配り、自炊生活をしながら奉仕を続けました。



新年の一月一三日、最後の礼拝を終え「これから送別会ではなく、谷口神学生の激励会をします。」と、聾者の役員の兄弟の言葉を受けては、全てを守り導いてくださった神にただただ感謝があふれるのみでした。

清水ゴスペルチャーチ
への派遣

二年 古川 雅香

今回の冬期派遣では、静

岡の清水市にあります清水ゴスペルチャーチに行かせて頂きました。

教会の周りには神社があり、創価学会があり、誠成公倫会という宗教があり、すこくサタンに縛られていました。クリスマス、トラクトを配つても教会まで、ポストの中にトラクトを返すという攻撃がありました。牧師先生ご夫妻、奥さん先生のお母様、私でトラクトを配り一致して祈り、クリスマスの特伝に多くの魂が来られたことを感謝しています。

また、教会の近くの梶原山に先生方に連れて行って頂き、多くの町を見ました。トラクトを配りながら見ていた町は、全体が見えなかったのでしょうか、山でその町を見た時に私は、「ここにはまだ多くの魂がイエス様の十字架の愛を必要としている」と思

いました。この町は、多くの宗教などでサタンに縛られています。しかし私は、イエス様の血潮によって勝利されていると確信しました。教会の町がこれだけサタンの力がすごい。だから、リバイバルされたら神様からのすごい祝福を受けると思いました。

この派遣で、一致して祈る時、神様は御業を起こし働いて下さるということを教えられ、神様に心から感謝しています。

